


北成病院季刊広報誌

ほくせい

医療法人社団 延山会
 **北 成 病 院**
 広報編集委員会

〒001-0933
 札幌市北区新川西 3 条 2 丁目 10-1
 TEL 011-764-3021
 FAX 011-764-4331

冬号



新年ご挨拶

病院長 内山茂夫

新年明けましておめでとう御座います。平成 18 年は 4 月の診療報酬改定、7 月の医療制度改革法案など、医療を取り巻く環境の一段と厳しい状況が作られました。当北成病院も理事長・院長などの勤務交替、医療機能評価機構の認定を得、職員一丸となってより良き医療、より安全な医療、より信頼される病院と目標を進めて参るつもりで御座います。

患者様にはきびしい経済・社会情勢では御座いますが、この状況を乗り切るには健康が一番と思われて地域医療に取り組んでおります北成病院をご利用頂き、より良い一年になることを願っております。また職員一同も皆様にご協力できるように日々研鑽を積んでいくつもりで御座います。本年もなにとぞ宜しく願い申し上げます。

新年ご挨拶	1 頁
メタボリックシンドローム	2 頁
冬場の安全対策	3 頁
部署紹介 (訪問看護室)	3 頁
日本医療機能評価機構認定	4 頁
療養病床から	4 頁
お知らせ	4 頁



年頭の辞

名誉院長 三宅直樹

明けましてお目出とうございます。

私こと、昨年 5 月の理事会人事により院長職を辞し、名誉院長を拝命致しました。院長在任中は種々の経験をさせて頂き、私なりに対処することを学び、職責を果たすと共に人生の糧となったと考えております。

一つ気掛かりだったのは、いわゆる病院事業における[㊤]マークとも言える医療機能評価機構の認定を獲得することでした。従業員一人一人の心構え、特に総師長の尽力と職員全員の協力で昨年 10 月無事合格し、認定証を当院玄関に表示することが出来ました。

我国では世界至上類を見ない超短期間での高齢少子化が実現した。確かに団塊の世代も老人の仲間入り間近で、益々高齢人口の増加が予想され、それに伴い若者が老人を支えることは難しくなるばかりであります。国が大企業の肩入れを行い、日本の経済大国復帰を意図するのは理解できますが、出来高増を伴わない成長率増は絵に描いた餅であり国民の暮らしが良くなるのは当然ではないでしょうか。国は財源が無いので社会保障費を削減せざるを得ないとの理論は耳にたこができるほど聞かされました。特別会計を一般会計に繰り入れれば解決できるのではと単純に考えております。医療情勢悪化気運の中、次期内山院長は苦勞されると思います。スムーズな運営を期待します。

私の診察は従来通りであり、今後も北成病院と共に尽力する覚悟でありますのでよろしく御願申し上げます。

理 念

日々研鑽を積み、全人的対応をもって、良質な医療を提供し、組織一体となって地域社会に貢献することを目指します。

基 本 方 針

1. 私たちは、医療人としての自覚を常にもち、切磋琢磨してチーム医療を実践します。
2. 私たちは、急性期から慢性期まで、患者様の立場に立ち、真心こめた医療サービスを提供します。
3. 私たちは、患者様の権利と安全を重視し、地域の皆様から信頼される病院づくりを目指します。
4. 私たちは、経営の健全性を高め、安定した病院経営を続けられるよう努力します。

お正月肥りで腹囲が気になる方、 あなたもメタボリックシンドロームではありませんか？

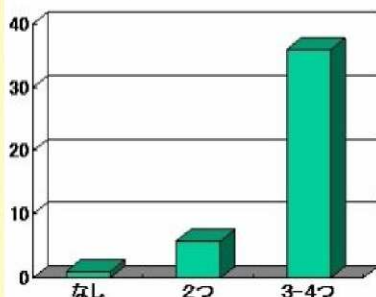


昨年の流行語の一つにもなったメタボリックシンドローム。腹囲と他の危険因子 2 個以上あるとこう診断され、**腹囲は男性 85cm、女性 90cm 以上**あると危険ということが強調されていますが、肥満が良くないのは以前から言われていた事。何故、今になって新しい病名をつけて騒がれるようになったのでしょうか。

これには二つの理由があります。一つは多少血压高めで高脂血症・糖尿病傾向はあるものの、薬を飲むほどではないといった人たちでも、心筋梗塞・脳梗塞になる例がしばしば見られ、今までの高血圧・高脂血症・糖尿病の治療ガイドラインだけでは、治療対象からもれてしまう高リスクの人々がいることがわかったことです。すなわち、健診で経過観察と判定されていた人達も、太っていて**経過観察が 2 個以上（血压、中性脂肪、善玉コレステロール低値、血糖値のいずれか）**あれば、メタボリックシンドロームとして要治療ということなのです。心疾患を発症するリスクは、これら 4 項目のうち、**2 項目**が当てはまる場合は健康な人に比べてリスクが**約 6 倍**、**3-4 項目**が当てはまる場合は**約 36 倍**にもなると言われています。

メタボリックシンドロームの診断基準	
必須項目	内臓脂肪蓄積 ウエスト周囲径 男性 ≥ 85cm 女性 ≥ 90cm (内臓脂肪面積 男女とも ≥ 100cm ² に相当)
選択項目	高トリグリセリド血症 ≥ 150mg/dL かつ/または 低HDLコレステロール血症 < 40mg/dL 収縮期 (最大) 血压 ≥ 130mmHg かつ/または 拡張期 (最小) 血压 ≥ 85mmHg 空腹時高血糖 ≥ 110mg/dL
*CTスキャンなどで内臓脂肪量測定を行うことが望ましい。	

メタボリックシンドロームの危険
因子の数と心疾患の発症リスク



もう一つの理由は、腹囲が男性 85cm 以上の基準だと、中年男性の半数近くが含まれてしまうため他人事ではなくて騒がれやすかったこともあげられます。もちろん、血压・脂質・血糖が基準未満なら腹囲が大きくてもメタボリックシンドロームとは診断されません。また、内臓脂肪がこの病気の主な原因 (最近の研究で、内臓脂肪は様々なホルモンを出す役割があり、脂肪の量が増えすぎるとその働きが悪くなり、血压・脂質・血糖などに悪影

響を与え、動脈硬化を進める事がわかってきました。) で皮下脂肪は悪さをしないとされ、女性型肥満といわれている洋ナシ型肥満 (下腹部・下半身肥満) は、内臓脂肪はさほど多くないこともあり、腹囲だけで診断されても CT という検査で内臓脂肪を測ると大丈夫と言われる場合もあります。女性は皮下脂肪が多いので、腹囲はその分を考慮して男性より腹囲の基準が甘くなっています。**男性に多いリンゴ型肥満 (上半身肥満・固太り) は内臓脂肪が主体です。**そのため内臓脂肪で比較すると、腹囲で男性 85cm と女性 90cm はほぼ同じ内臓脂肪量だと言われています。この基準は厳しすぎるのではとの議論もあり、今後変わるかもしれませんが、それ以下の腹囲の人に比べるとリスクが高いのは事実のようですので、さっそくメジャーを出して測ってみましょう。腹囲 85/90cm 以上あればまずダイエット。危険因子は健診を受けていなければ病院で検査してもらいましょう。内臓脂肪がたまりやすい食事は、高脂肪食 (脂っこいもの)、高ショ糖食 (甘いもの)、高カロリー食 (カロリーが高いもの、食べ過ぎ)、低繊維食 (緑黄色野菜の不足)、アルコールです。これらを控え運動を 1 日 30 分以上行いましょう。血压などが高いと言われても放置していた方は、腹囲 85/90cm 以上ではリスクはさらに UP。やはり薬を出してもらいましょう。



冬は心筋梗塞や脳梗塞の起こりやすい季節、くれぐれも御用心を。(副院長：棚澤 哲)

冬場の安全対策



新年明けましておめでとうございます。とはいっても 1 月下旬、お正月の清らかな気持ちも薄れつつ真冬と向き合う日々ですね。さて、今回も恒例の冬場の安全対策をお知らせします。

- * **アイスピック**…………… 先にとがった爪がついており、杖の先に装着する用具。
金額：約 1,000 円 取り扱い：福祉用具専門店
- * **クッションパンツ**…………… 万が一転倒してしまった時、その衝撃を和らげる低反発ウレタンフォームが両脇に入ったパンツ。
金額：約 3,000 円 取り扱い：福祉用具専門店
- * **福祉除雪サービス**…………… 昨年 10 月 4 日で申し込みは終了しましたが追加申し込みができるようです。
 - ◆ **対象者** ……… 一戸建て、500m 以内に援助できる子や孫がいない、自力除雪ができない、70 才以上だけの世帯、身障手帳 1～4 級保持者だけの世帯、介護保健サービスを受けている方だけの世帯など。
 - ◆ **除雪範囲** ……… 道路に面した出入口（門）幅 1.5m / 出入口（門）～玄関幅 80cm 通路 1 本
 - ◆ **負担金** ……… 市民税課税世帯：10,000 円 / 4 ヶ月（12 月～3 月）
市民税非課税世帯：5,000 円 / 4 ヶ月（12 月～3 月）
生活保護世帯：無 料 / 4 ヶ月（12 月～3 月）
 - ◆ **問い合わせ先** …… 区役所の保健福祉課または区の社会福祉協議会
- * **通院、外出の付き添い**
 - ◆ **対象と窓口** …… 要支援 1～2 の方は包括支援センター
要介護 1～5 の方はケアマネージャー
介護保険外の方は有料ボランティア



ところで、皆さんは「雪起こし」ってご存じですか？私の地元、関西の日本海側にある小さな田舎では、毎年この「雪起こし」の雷でひと冬の本格的な雪の降り始めを知ります。夏の雷はバリバリという音ですが、「雪起こし」の雷は「ゴロゴロ、ゴー」と重く低い地響きのような音がします。ここ札幌も 11 月下旬この「雪起こし」が鳴り、その当日から本格的に雪が降り始めましたよ。また、ひと冬の最後の雪が降る前にも同じ音の雷が鳴ります。注意して聞いてみて下さい。聞いた方は「あ～、雪起こしや～」と言いましょ。聞き漏らしたり、鳴らなかったら、笑っておきましょう。誰かに伝える時は、間違っ「雷おこし」と言わないように。大阪名物お菓子ですから。皆様にとって今年一年、善き年となりますようお祈りいたします。（医療ソーシャルワーカー：河崎雅子）

部署紹介

～訪問看護～



こんにちは北成病院訪問看護室です。あつという間に楽しい正月は過ぎ、ひたすら春を待つ今日この頃、皆さんはいかがでしょう？

さて、平成 12 年に介護保険制度が開始され北区にも多数の訪問看護ステーションが設立されました。利用されている方も年々増えているとおもいます。そんな中、当院の訪問看護事業は介護保険が開始された平成 12 年から 8 年も前の平成 4 年 4 月から実施されており、小規模ながらも歴史のある施設となっています。

訪問サービスを提供するおおよその基準は、入院による治療は終わったが退院後の通院が困難な方、定期的な訪問看護が必要な方となっており、対象となる方に対し訪問診療（医師が定期的に訪問し診療を行います。）、訪問看護を実施しています。また、訪問看護師と同行し医療ソーシャルワーカーの訪問を実施しており福祉や医療制度等に対する相談も気軽にいただいています。必要に応じ薬剤指導、栄養指導の訪問も実施しており、各スタッフが連携を取りながら状況に合った医療及びサービスを提供できるよう努力しています。

現在は 24 時間体制の訪問看護ステーションがあり夜間の訪問サービスを行っている所もありますが、都合上当院の訪問看護は 8:45～17:15 までの対応となっています。しかし、それ以降の緊急時受入れは病院として即時対応を基本としており、いざという時安心してご利用いただけること間違いなしです。

益々高齢化が進む中、様々な病気を抱え家庭での対応に苦慮されている方は大勢いらっしゃると思います。私たちがお役にたてる事があるかもしれません、実際に今悩まれている方、関心のある方は気軽にお声をかけてください。（訪問看護師：成田智枝）



機能評価機構の認定を受けました



機能評価受審に向けて院内の様々な問題の解決・改善等を、三宅名誉院長を中心に長い期間時間をかけて取り組み 10 月に認定病院になりました。正面玄関に掲示している認定証、ロゴマークに身の引き締まる思いです。これからの時代に相応しい病院医療を実現し、将来に向けて北成病院の一層の発展を期待することを願い、これからもまた職員の志気が下がらないよう合理的な管理・運営により、安全で質の高いサービスが提供できるよう努めていきたいと思っております。患者様の投稿等が改善項目としてとても参考になっております。ご遠慮なく投稿をお願い致します。(総師長:米谷弟子)

※医療機能評価とは病院の「医療の質」を第三者である日本医療機能評価機構という団体がチェックするシステムです。

療養病棟では患者様のリハビリでもあり、スタッフとの交流の意味も含め、一年を通して様々な作品を作りあげています。

編み物が得意な方、習字が得意な方、絵が得意な方など様々で、その完成品を展示し、季節に合った絵画で廊下全体を鮮やかに飾りつけて患者様の気分も元気にしてくれます。

今回は、12月のメインイベントであるクリスマスに関係したものを作りました。一目見ただけでその気分をあげられる様なものになっています。患者様とスタッフが一緒になって一生懸命に作り上げたものです。

今後とも皆様に笑顔と暖かい気持ちを与えられればと願って努力していきます。(ケアワーカー:増田留美子)



お知らせ

今年 1 月 9 日から毎週火曜日に理事長の河口義憲(日本内科学会認定内科専門医)が外来を担当しています。

診療は9時から10時までの1時間となっております。リウマチでお悩みの方もご遠慮なく受付までお問い合わせ下さい。

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。今年も皆様にとって良い年でありますように。今年最初の広報誌はいかがでしたか? 広報委員一同、今年も見応えのある広報誌を目指しますので、どうぞ期待下さい。

さて、北海道は各地で冬のイベントが行われるシーズン。冬も一番厳しい時期を向かえます。今年は例年に比べて雪が少なく、過ごしやすいですね。このまま春へ向かうと嬉しいのですが・・・

北海道は雪景色でも南の地方ではもう梅が咲き始めます。春の足音が待ち遠しいですね。(編集委員:堀田洋平)

北成病院概要

- 診療科目:内科・循環器科・呼吸器科・消化器科・放射線科
- 病 床:一般病床 58 床 (10 対 1 入院基本料)
- 療養病床 64 床 (療養病棟入院基本料 2)
- 介護病床 22 床 (療養型介護療養施設サービス費(I)(ii))
- 日本医療機能評価機構認定

～患者様とご家族の権利～

1. 基本的人権と人格を尊重される権利
2. 思いやりのある、良質な医療を公平に受ける権利
3. 適切な情報提供や十分な説明を受ける権利
4. 納得のもとに、検査や治療を受けるか、受けないかを決定する権利
5. プライバシーを保護される権利
6. 健康であるために情報を求める権利
7. 他の医師に診断を受け、治療法についての意見(セカンドオピニオン)を聞く権利

